

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	

企業の概要

社名	株式会社テクノクレア	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	9
事業概要	システムコンサルティング システム開発		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール策定
テレワーク担当部署	代表取締役直轄
テレワーク対象者	プログラマー・デザイナー
実施者数	3名
実施日数	9割以上

テレワークの導入・拡大の経緯

弊社はIT企業であり、業務の半分以上、開発業務であればそのほとんどが場所を問わず業務遂行することができる環境にあります。従って、時間的・空間的に自由な環境での業務遂行を奨励しており、その中心にあるものがテレワークであると考えて参りました。同時に、『業務環境の多様化』を目指し、どこでも仕事ができることは時間効率・コスト効率ともに有益であるとともに、様々な環境で業務を行うことでより創造的な仕事ができると思ったことが拡大の経緯です。

テレワークの概要・特徴

当社が導入しているテレワークは、在宅勤務を中心としており、その中心は「子育てママ」です。「子育てママ」がより活躍しやすい環境を提供することに主眼を置いてテレワークを推進して参りました。また、家族（主に子供）の病気などで一時的に外出することも柔軟に許容しています。

尚、「子育てママ」を支援することの背景にある思想は、代表取締役たる私自身が子育て世代であることと同時に、子供こそが日本の、そして人類の宝だと考えるからです。

※もちろん「子育てパパ」も支援しています。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

- 1. 優秀な人材を獲得できた**
「子育てママ」の多くは仕事に対するモチベーションが高いと考えています。（少なくとも弊社周囲の多くがこの通りです）
しかしながら通勤や業務時間等の制約から、希望する職を得られない事例が散見されます。そこで弊社では子育てママ支援、及び多様な働き方醸成のためテレワークを推進しており、それと呼応する形で、優秀な人材の雇用に成功しております。
- 2. 人材の多様化に貢献**
上記の通り、テレワークを中心とすることで人材の多様化にも資することになりました。これは偶然かもしれませんが、それまで縁のなかったデザイナー、3D開発プログラマーなどといった特殊な技能を持った人材を受け入れることができたのもテレワークを推進したことが大きかったと考えております。
- 3. スキルアップの場**
デザイナーであれば、多様な環境で仕事をするすることで、より想像的なアイデアが生まれます。
プログラマーであれば、同様に自由な発想でアルゴリズムを考え、新しい仕組みを醸成する土壌になっていると信じます。
この結果、テレワーク導入前後で生産性が30%アップ（＝利益が30%アップ）しているという状況です。